

13. 運輸・通信施設

(1) 施設の概要

運輸・通信施設は、施設数 12、総延床面積 359.8 m²となっています。これは、本市の公共施設のうち、面積比で 0.1%に満たない程度です。

運輸・通信施設の一覧を表 4.13.1 に、経過年数別の延床面積の割合を図 4.13.1 に、耐震化状況の延床面積の割合を図 4.13.2 に、施設の分布図を図 4.13.3 に示します。

表 4.13.1 運輸・通信施設一覧

No	施設名称	構造	建築年度	経過年数	棟数	施設保有延床面積(m ²)	耐震化状況	地域	指定管理	備考
1	一関市防災行政情報システム 消防本部無線中継局	軽量鉄骨造	2013	2	1	32.5	不要	一関		
2	一関市防災行政情報システム 石蔵山無線中継局	軽量鉄骨造	2013	2	1	65.0	不要	一関		
3	バス待合所	軽量鉄骨造(アルミ)	1995	20	2	21.0	不要	花泉		
4	大東バスセンター	鉄骨造	1994	21	2	138.7	不要	大東		
5	一関市防災行政情報システム 束稲山無線中継局	鉄筋コンクリート	1979	36	2	77.8	不要	東山		
6	市営バス待合室(佐野)	木造	2005	10	1	3.3	不要	室根		
7	市営バス待合室(児童館前)	木造	2004	11	1	5.0	不要	室根		
8	市営バス待合室(小田屋敷)	木造	2005	10	1	3.3	不要	室根		
9	市営バス待合室(松寿院前)	木造	2004	11	1	5.0	不要	室根		
10	市営バス待合室(新田)	木造	2005	10	1	3.3	不要	室根		
11	市営バス待合室(診療所)	木造	2004	11	1	5.0	不要	室根		
12	藤沢情報通信センター	—	—	—	—	設備のみ	—	藤沢	●	藤沢支所内

※構造、建築年度、経過年数、耐震化状況は、施設の代表棟の内容を記載しています。

※施設保有延床面積は、施設内の建物の延床面積の合計を記載しています。

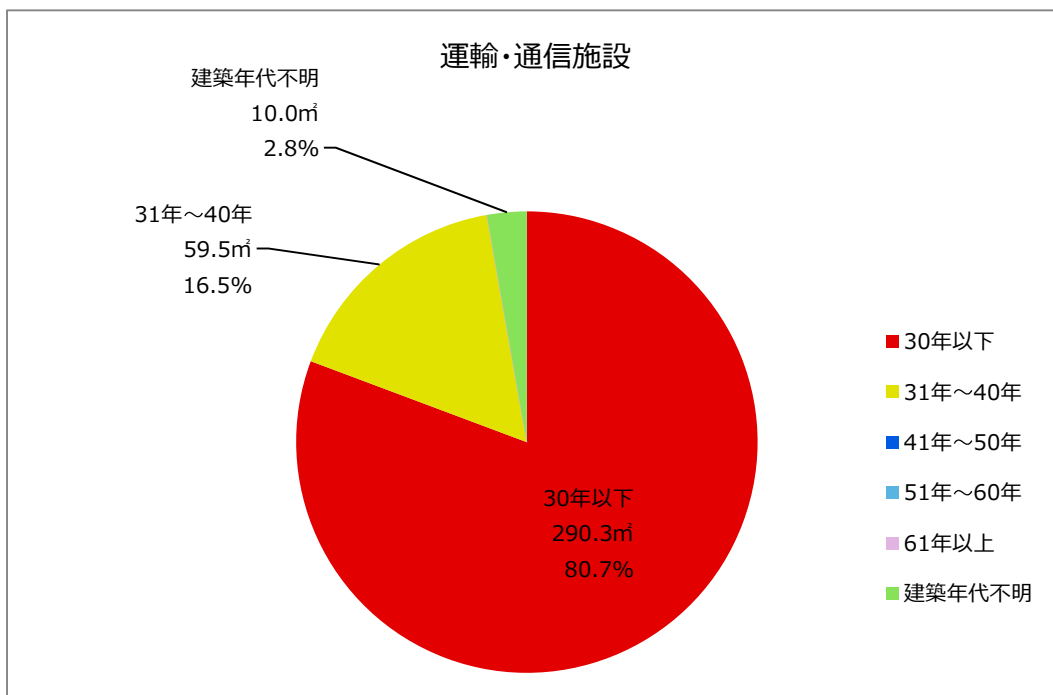


図 4.13.1 経過年数別の延床面積の割合

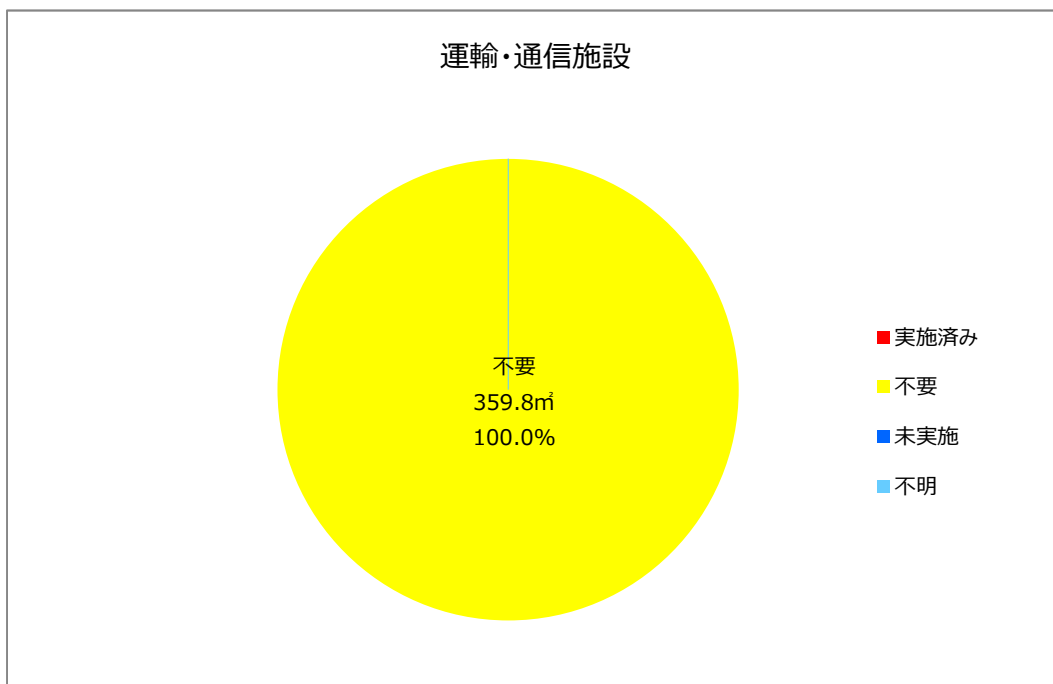


図 4.13.2 耐震化状況の延床面積の割合

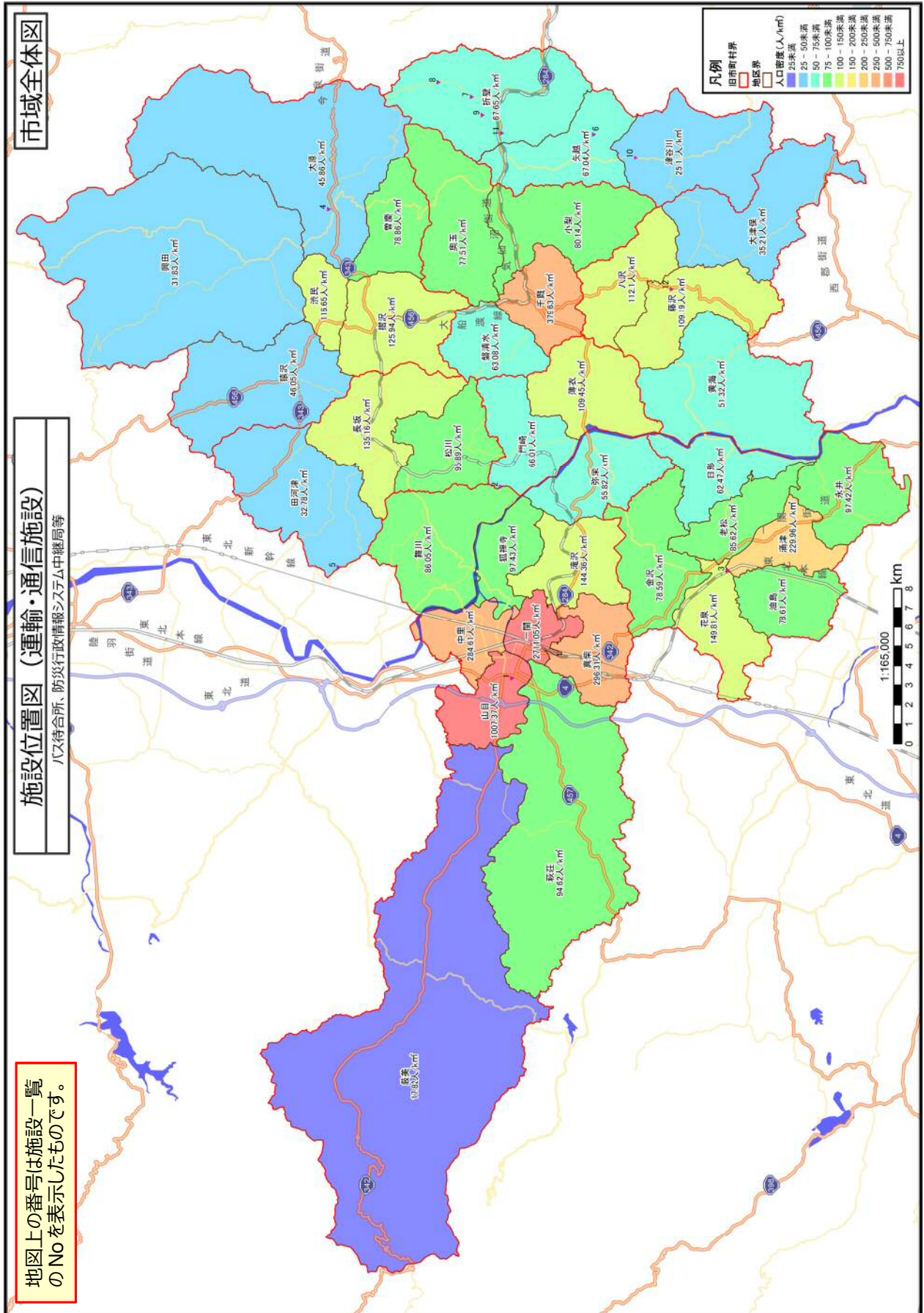


図 4.13.3 施設分布図

(2) 施設の収支状況

運輸・通信施設の施設別の収支状況を表 4.13.2 に、運輸・通信施設全体での市負担額の推移を図 4.13.4 に示します。

表 4.13.2 施設別の収支状況（平成 24 年度から平成 26 年度の平均）

No	施設名称	市の収入 (円)	市の支出 (円)	うち維持管理に かかる支出(円)	市負担額 (円)	地域
1	一関市防災行政情報システム 消防本部無線中継局	0	2,333	2,333	2,333	一関
2	一関市防災行政情報システム 石蔵山無線中継局	0	76,166	76,166	76,166	一関
3	バス待合所	0	346	346	346	花泉
4	大東バスセンター	0	667,435	667,435	667,435	大東
5	一関市防災行政情報システム 束稲山無線中継局	0	253,637	253,637	253,637	東山
6	市営バス待合室(佐野)	0	0	0	0	室根
7	市営バス待合室(児童館前)	0	0	0	0	室根
8	市営バス待合室(小田屋敷)	0	1,750	1,750	1,750	室根
9	市営バス待合室(松寿院前)	0	0	0	0	室根
10	市営バス待合室(新田)	0	0	0	0	室根
11	市営バス待合室(診療所)	0	0	0	0	室根
12	藤沢情報通信センター	18,099,980	42,213,769	28,549,535	24,113,789	藤沢
合計		18,099,980	43,215,436	29,551,202	25,115,456	

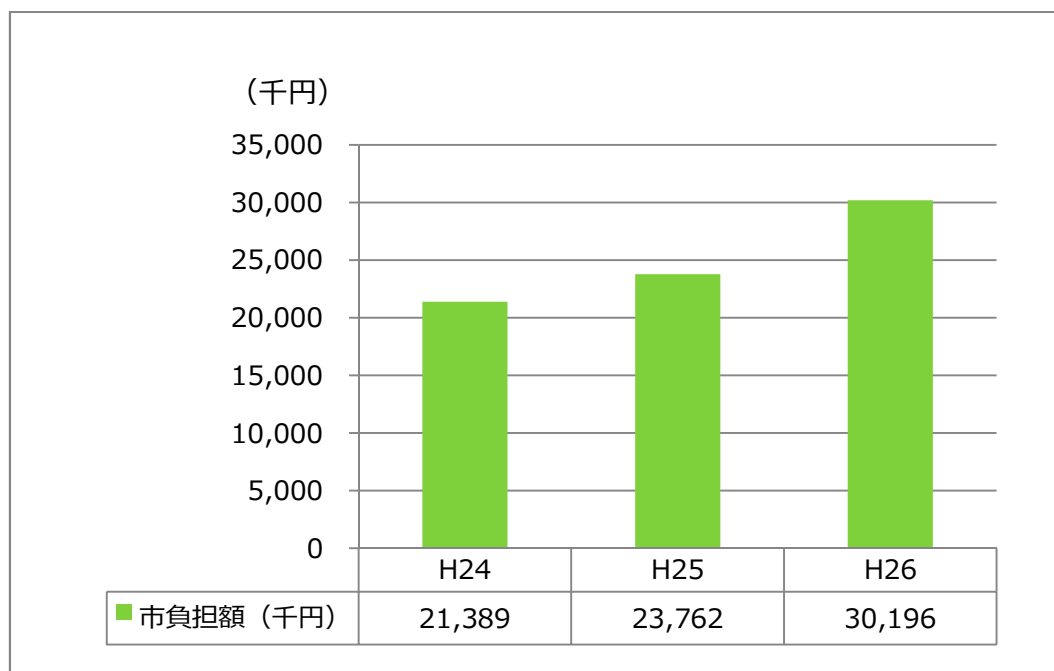


図 4.13.4 運輸・通信施設全体での市負担額の推移

(3) 施設の利用状況

運輸・通信施設については、運輸・通信施設を維持管理するための必須機能として、また、利用人数等の利用状況を特定し得ないため、特定の利用状況調査は実施しません。

(4) 施設の現況と課題

- 建築後の経過年数が30年以下のものが8割を占めます。
- ここ3年間の施設の維持管理に係る市負担額は増加傾向にあります。
- 通信施設については、市民への情報通信手段の確保のため、インフラ資産と同様に日常の維持管理が大切な施設です。